

2020年12月期 第1四半期 決算説明会 主な質疑応答の内容

<2020年5月13日に開催した決算説明会における質疑応答の内容を要約しています>

新型コロナウイルスの感染拡大の影響

Q:1Qの業績への影響はそれほど大きくないと思うが、標準ポンプ事業と冷熱事業で売上・営業利益にどの程度のマイナス影響があったか。

A:標準ポンプ事業は売上が10億円以上減少した。冷熱事業は減収により営業利益が5億円以上減少した。

Q:ポンプ事業では利益面の影響はそれほどないか。荏原グループ全体でも5億円程度か。

A:数億円。

2020年12月期第1四半期の決算概要 風水力

Q:新型コロナウイルスの感染拡大の影響を除いたベースで、当初の第2四半期(1-6月)と通期見通しに対し受注と営業利益の進捗はどうか。

A:ポンプ事業と冷熱事業はほぼ計画通りで、コンプレッサ・タービン事業は少し上振れた。環境プラント事業は若干上振れ、精密・電子事業は下振れた。

Q:決算説明会資料の営業利益増減要因分析について、固定費が9億円減少した理由。

A:新型コロナウイルスの感染拡大の影響で出張などの活動が大きく制限されており、その影響で固定費が減少している。

Q:3カ月間で9億円も出張費がかかるのか。

A:出張費だけではなく人件費など諸々が含まれる。国内における在宅勤務などで事業活動が制限された影響。

Q:2019年12月期の風水力事業の固定費は前年同期比で21億円(通期)増加していたが、今期は3カ月で9億円減少した。今の状況が続けば、21億円以上減少するか。

A:事業活動への制限が継続することを前提とすれば有り得るが、受注活動や営業が制限されるため受注・売上が減少する。

2020年12月期の見通し

Q:第2四半期(1-6月)および通期の見通しを取り下げた理由は何か。環境プラント事業は業績が振れにくく、精密・電子事業の主要市場である半導体市場では新型コロナウイルスの感染拡大とは関係なく設備投資が行われている。風水力事業で不透明感があるのか。

何がクリアになれば見通しを開示できるか。

A:見通しを未定にした理由は2点。

①受注から売上までの期間が短い標準ポンプや冷熱事業の受注・売上が4月にかなり減少している。これが今後続くのか、回復あるいは悪化するのかが現時点では読めない。

②新型コロナウイルスの感染拡大に伴う人の移動制限により出張や外回りが困難となっている。長期化した場合、営業利益率の高いS&Sの活動や精密・電子事業の装置立ち上げのためのエンジニア派遣が制限され続ける可能性がある。現時点ではいつまで続くのか読み切れない。

明確に状況が見えてきた時点で改めて計画を出す。

Q:サプライチェーンに懸念がなく、稼働を停止しているフィリピンの生産拠点が荏原グループ全体に与える影響も小さいので、リスクは営業活動などか。

A:リスクは建築設備市場の冷え込み。ビルの建設工事が遅れると、ポンプの納入時期も遅れる。その影響は標準ポンプでかなり大きいと想定される。

Q:海外市場ではロックダウンの解除が進んでいる。第二波が来た場合の動向は不明だが、国内でも地域によっては工事再開の動きがあり、人の移動制限も解除され始めているので、見通しを取り下げたのはサプライズだった。制限が解除されれば、見通しを出せるか。

A:我々の業界の特性として、市場の回復よりも当社の回復は後追いの傾向にある。その点を考慮しながら見通しを出していく。

2020年12月期の見通し 風水力

Q:石油&ガス市場において足元で、原油価格下落による受注のキャンセルや顧客の工場稼働率低下に伴うS&Sの売上減少などが見られるか。1Q時点では影響はないと思うが、2Q以降はどのような見通しか。

A:大型案件の計画に延期がみられる。営業利益率の高いS&Sについては足元では実質的な影響は見られないが、原油価格の低迷が今後も継続した場合は売上に影響が出てくると想定される。

2020年12月期の見通し 精密・電子事業

Q:1Qは精密・電子事業の営業利益が減少したが、当初の通期見通しは前期並み。

1Qのマイナス要因を当初の通期見通しに影響のあるものとないものに切り分けてほしい。

A:検収遅れの影響は通期では徐々に解消される見込み。1Qの案件ミックスは前年同期比でかなり収益性が悪いが、今後は徐々に回復する見込み。

固定費は今後、自動化工場の操業を段階的に開始するため、減価償却費が増加する見込みだが、当初の計画に織り込み済み。

人の移動制限が継続した場合、精密・電子事業の装置立ち上げに影響を受ける恐れがある。

Q:一部顧客向け案件の不具合は通期で影響が残ることなはいか。

A:今期中に解決する見込み。

Q:1Qのマイナス要因で当初の通期見通しを引き下げる要因に成り得るものはないか。

A:現時点では、その影響は少ないと見ている。

以上